

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

病虫害防除技術情報（第 2 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願ひいたします。

記

1 情報の内容 果樹カメムシ類の集合フェロモントラップにおける誘殺数の急増

2 対象作物 うめ、もも、びわ、キウイフルーツ、なし等

3 現状と今後の対策

ア) 本年度はチャバネアオカメムシの越冬密度が 1.74 頭 / 2m² と最近 10 年間では最も高くなっている。県下調査 5 地点の集合フェロモントラップにおける誘殺数は、4 月には概ね平年並以下で推移していた。しかし、松山市上難波を除いた 4 地点で 5 月第 1～2 半旬に急増している（下図）。

イ) 四国地方の 5 月 12 日から 6 月 11 日の平均気温は、高い確率 50% とされている（平成 24 年 5 月 11 日 14 時 30 分 高松地方气象台発表）。このことから、気温の上昇に伴って越冬成虫が活動を活発化させ、園地へ飛来する危険性が高まることが予想される。

ウ) 防除上の注意は、平成 24 年 3 月 12 日付け平成 23 年度病虫害発生予察注意報第 1 号を参照。

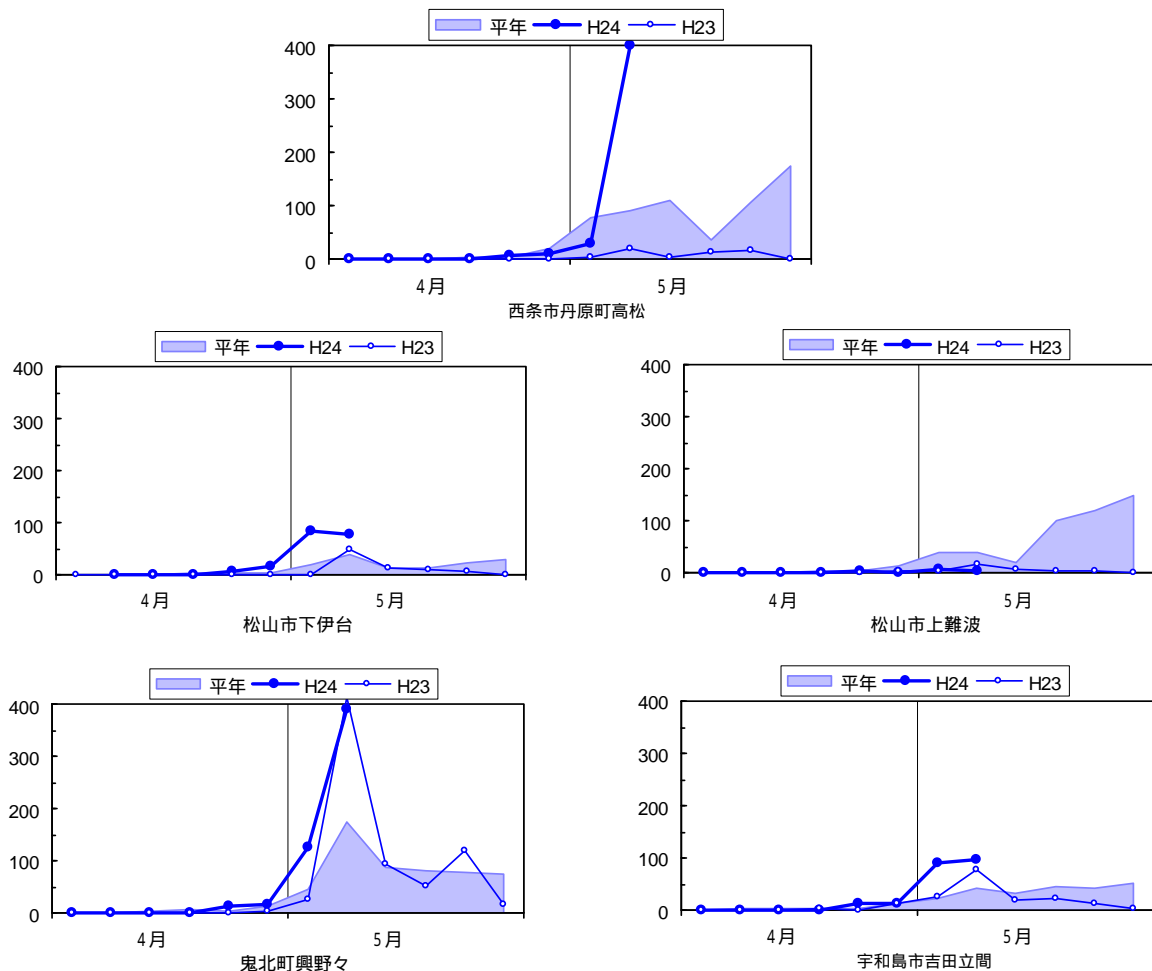


図 各地の集合フェロモントラップにおける果樹カメムシ類の半旬当たりの誘殺数
調査対象種: チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ。
H24年は4月第1半旬から5月第2半旬まで。平年及びH23年は5月第6半旬までの誘殺数。